

数学オリンピック予選地区賞を受賞しました！

文責：下山

※主催者 H.P. (<https://www.imojp.org/>)

令和5年1月9日(月)、「日本数学オリンピック(JMO)予選」に、本校から1年生6名、2年生1名の計7名が参加しました。数学オリンピックは、言語学オリンピックや物理オリンピック同様科学オリンピックの一つで、勝ち進むと国際オリンピックにもつながる大会です。予選では、参加者は3時間かけて数学の問題12題を解き、その点数で本選出場を競います。今年は全国から4980名参加し、神奈川県地区からは272名参加しました。

生徒たちは、この予選会出場に向けて勉強会を実施してきました。その結果、本選出場はなりませんでした。1年生が1人、地区内上位1割に入る点数を取り、地区賞を受賞しました！

受賞を逃した生徒たちも、通常の高校数学とは一味違う問題に触れ、その問題に一丸となって取り組み、話しあいも交えながら考えていくことで、多くの学びと友人を得ることができました。以下に生徒たちの感想の一部を掲載します。

- 闇雲に解く前に、ある程度見当をつけて方針を立てることが必要だと学びました。ふわっとした感覚で解くのではなく、「何がしたいのか」、「今何をしようとしているのか」を理解して解くことが大切だとわかりました。
- わからないことを様々な視点で考える力が身についたと思う。友達と「じゃあ次は関数で当て込んでみる？」など会話をしながら数学を宥めたと思う。
- 当日は緊張していましたが、自分の力を発揮することができたのでよかったです。来年はもっと対策したうえでもう一度受験したいと思いました。
- 数学の問題を粘り強く考える力が身についたと思います。対策講座で扱った問題は思考力が鍛えられるような問題が多く楽しみながら解くことができました。また、この講座を通して数学が好きな仲間と出会うことができました。そんな友達と一緒に問題を考えたりすることができてよかったです。
- 問題を解き始めると、今まで学んだ考え方が活かしていることが実感出来ました。一見何をすればいいのか分からない問題はばかりでしたが、自分なりの解法を見つけて取り組むことが出来ました。中々ない貴重な機会だったと思います。

- 受験前は不安だったが、5問しか解けなかった昨年度に比べて、今年度は7問解くことが出来たので自分の成長を実感できるとともに、本戦出場の希望が見えて嬉しかった。
- 数学が好きな人同士で難しい問題に取り組むのはとても楽しく、一人で黙々と解くのはまた違った魅力があると思います。難しい問題へのアプローチの仕方も学べて面白かったです。